

授業科目名：教育思想特論		教育学・教職
担当教員名：馬上 美知		534101/半期/2 単位/講義
【到達目標】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ギリガンによって提起された「ケア」的倫理について説明できる。 ・デイングズによって提案された「ケアリング」概念を説明できる。 ・民主的な社会の維持・発展において、どのような市民の育成=教育が求められているのかについて考えることができる。 		
【授業の概要(目的)】		
<p>小学校教員としての資質を真に高めるためには、教育技術や知識を統合し、かつ、その使命を自覚する教育理念や思想について学ぶことが不可欠である。本講義では、社会倫理として近年注目されてきているケア論に着目することで、今後の民主的な社会の維持と発展においてどのような市民の育成が求められているのかについて考察し、教育理念の理解を深めていく。</p>		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	キャロル・ギリガンについて調べ、著作が社会に与えたインパクトについて考えてくる。(2 時間) 授業の内容と計画について 授業内容の復習と、ギリガンに関連する研究論文を見つける(2 時間)
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	「もう一つの声」の指示箇所を読んでくる。(2 時間) 自律とケア-新たな社会倫理の提案- 授業内容を復習し、理解を確実にする。(2 時間)
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	「幸せとは」について熟読し、まとめる。(2 時間) 人生および教育目的としての幸せ-幸せとは- 授業内容を復習し、理解を確実にする。(2 時間)
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	「苦しみと不幸せ」について熟読し、まとめる。(2 時間) 人生および教育目的としての幸せ-苦しみと不幸せ- 授業内容を復習し、理解を確実にする。(2 時間)
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	「ニーズと欲求」について熟読し、まとめる。(2 時間) 人生および教育目的としての幸せ-ニーズと欲求- 授業内容を復習し、理解を確実にする。(2 時間)
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	「教育の目的」授業内容を復習し、理解を確実にする。(2 時間) 人生および教育目的としての幸せ-ニーズと欲求-教育の目的- 授業内容を復習し、理解を確実にする。(2 時間)
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	「家庭を築くこと」について熟読し、まとめる。(2 時間) 個人の生活のために教育すること-家庭を築くこと- 授業内容を復習し、理解を確実にする。(2 時間)
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	「郷土と自然」について熟読し、まとめる。(2 時間) 個人の生活のために教育すること-郷土と自然- 授業内容を復習し、理解を確実にする。(2 時間)
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	「親業」について熟読し、まとめる。(2 時間) 個人の生活のために教育すること-親業- 授業内容を復習し、理解を確実にする。(2 時間)
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	「性格とスピリチュアリティ」について熟読し、まとめる。(2 時間) 個人の生活のために教育すること-性格とスピリチュアリティ- 授業内容を復習し、理解を確実にする。(2 時間)
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	「対人関係における成長」について熟読し、まとめる。(2 時間) 個人の生活のために教育すること-対人関係における成長- 授業内容を復習し、理解を確実にする。(2 時間)
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	「仕事への準備」について熟読し、まとめる。(2 時間) 個人の生活のために教育すること-仕事への準備- 授業内容を復習し、理解を確実にする。(2 時間)
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	「共同体、民主主義、奉仕活動」について熟読し、まとめる。(2 時間) 公的な生活のために教育すること-共同体、民主主義、奉仕活動- 授業内容を復習し、理解を確実にする。(2 時間)
第14回	事前学修 授業内容 事後学修	「学校と教育における幸せ」について熟読し、まとめる。(2 時間) 公的な生活のために教育すること-学校と教育における幸せ- 授業内容を復習し、理解を確実にする。(2 時間)

第 15 回	事前学修 授業内容 事後学修	授業を振り返り、ケア論における教育の役割について考えてくる。 まとめ 授業において提示した課題を完成させる。
<p>【成績評価の方法】 授業に臨む態度 40%、授業後のレポート 60%</p> <p>【テキスト】 特になし</p> <p>【参考書】</p> <p>キャロル・ギリガン『もう一つの声』川島書店, 1986</p> <p>ネル・ノディングス『ケアリング』晃洋書房, 1997</p> <p>ネル・ノディングス『幸せのための教育』知泉書館, 2008</p> <p>【履修上の注意等】 必ず事前に次回の授業内容の文献を読み、疑問点を整理してくる。文献については、学生の状況に応じて変更することがある。</p>		

授業科目名：教育思想演習		教育学・教職
担当教員名：馬上 美知		534102/半期/2 単位/演習
【到達目標】		
<ul style="list-style-type: none"> ・包括的社会とはどのような社会なのか、説明できる。 ・包括的社会における教育の役割について考えることができる。 		
【授業の概要(目的)】		
<p>インクルーシブ教育の実現を担うには、多様な人間の平等な社会参加を目指す社会理論について学ぶことが不可欠である。本講義では、包括的社会とはどのような社会であるかを考える。その後、社会理論の領域において、障壁者・外国人・動物をも視野に入れた正義に適った世界のありようを追求しているマーサ・ヌスパウムの思想に着目し、彼女の提案する正義に適った社会において、教育における平等とはどのような様相をなしているのかを考察し、教育の理念に関する理解を深めていく。</p>		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	「インクルーシブ教育」に関する文科省の方針について調べ、説明できるようにしておく。(2 時間) 授業の内容と計画について 授業において提示した課題を完成させる。
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	「社会に参加すること」について熟読し、まとめる。(2 時間) 社会に参加すること 授業内容を復習し、理解を確実にする。(2 時間)
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	「社会的排除とは何か」について熟読し、まとめる。(2 時間) 社会的排除とは何か 授業内容を復習し、理解を確実にする。(2 時間)
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	「社会的排除 VS 貧困」について熟読し、まとめる。(2 時間) 社会的排除 VS 貧困 授業内容を復習し、理解を確実にする。(2 時間)
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	「社会からの引きはがし」と「中途半端な接合」について熟読し、まとめる。(2 時間) 社会からの「引きはがし」と「中途半端な接合」 授業内容を復習し、理解を確実にする。(2 時間)
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	「若者と社会への中途半端な接合」について熟読し、まとめる。(2 時間) 若者と社会への中途半端な接合 授業内容を復習し、理解を確実にする。(2 時間)
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	「周縁」について熟読し、まとめる。(2 時間) 周縁 授業内容を復習し、理解を確実にする。(2 時間)
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	「セーフティネットからの脱落」について熟読し、まとめる。(2 時間) セーフティネットからの脱落 授業内容を復習し、理解を確実にする。(2 時間)
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	「社会的包摂の在り方」について熟読し、まとめる。(2 時間) 社会的包摂の在り方 授業内容を復習し、理解を確実にする。(2 時間)
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	「正義論における未解決の問題」について熟読し、まとめる。(2 時間) 正義論における未解決の問題 授業内容を復習し、理解を確実にする。(2 時間)
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	「障害と社会契約」について熟読し、まとめる。(2 時間) 障害と社会契約 授業内容を復習し、理解を確実にする。(2 時間)
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	「ケイパビリティと障害」について熟読し、まとめる。(2 時間) ケイパビリティと障害 授業内容を復習し、理解を確実にする。(2 時間)
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	「尊厳とケイパビリティ」について熟読し、まとめる。(2 時間) 尊厳とケイパビリティ 授業内容を復習し、理解を確実にする。(2 時間)

第 14 回	事前学修 授業内容 事後学修	「基本的な政治原理」について熟読し、まとめる。(2 時間) 基本的な政治原理 授業内容を復習し、理解を確実にする。(2 時間)
第 15 回	事前学修 授業内容 事後学修	授業を振り返り、ケア論における教育の役割について考えてくる。 まとめ 授業において提示した課題を完成させる。
<p>【成績評価の方法】授業に臨む態度 40%、授業後のレポート 60%</p> <p>【テキスト】特になし</p> <p>【参考書】</p> <p>岩田正美『社会的排除』有斐閣, 2008</p> <p>マーサ・ヌハイム『正義のフロンティア—障害者・外国人・動物という境界を越えて』法政大学出版局, 2012</p> <p>【履修上の注意等】必ず事前に次回の授業内容の文献を読み、疑問点を整理してくる。文献については、学生の状況に応じて変更することがある。</p>		

授業科目名：教育史特論		教育学・教職
担当教員名：猪瀬 義明		534103/半期/2 単位/講義
【到達目標】		
<p>(1)障害児教育の黎明期、振興期の状況を明らかにする。</p> <p>(2)1960年代以前の障害者処遇の歴史を把握する。</p> <p>(3)「権利としての障害児教育」の登場等1970年代の歴史的転換点を理解できるようにする。</p> <p>(4)1990年代以降の障害児主体の「特別ニーズ教育」への質的転換を検証できるようにする。</p> <p>(5)現在の「インクルージブ教育」への歴史の推移を明らかにする。</p>		
【授業の概要(目的)】		
<p>この授業では、まず戦後教育改革期～高度経済成長期である1960年代までの「特殊教育」の発展と戦前の障害者処遇と障害児教育について検討し、「就学猶予・免除」という名の下に、「排除」されていた子どもたちへの教育に関する戦前と戦後の連続・非連続について考える。その上で、1970年代以降の「権利としての障害児教育」から1990年代以降の「特別ニーズ教育」への流れを概観し、今日までの到達点(インクルージブ教育)と課題を明らかにする。</p>		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	戦後史(1946～1951年)を整理しておく(2時間) 戦後新教育の理念・制度と「特殊教育」制度の発足(1946～1951年) 制度としての「特殊教育」を確認する(2時間)
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	戦後史(1952～1958年)を整理しておく(2時間) 「冷戦」体制の成立と「特殊教育振興」を求める運動(1952～1958年) 特殊学級の計画設置をまとめておく(2時間)
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	戦後史(1959～1966年)を整理しておく(2時間) 能力主義教育政策の登場とその下での「特殊教育振興」(1959～1966年) 学習指導要領の改訂等をまとめておく(3時間)
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	戦前史、幕末から明治初期の歴史を整理しておく(2時間) 近代日本における障害者処遇の歴史 障害児教育の黎明期前期をまとめておく(2時間)
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	戦前史、明治末期の歴史を整理しておく(2時間) 明治末期の特別教育(1)(「劣等児」教育に関する宮城県の事例) 障害児教育の黎明期後期をまとめておく(2時間)
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	戦前史、明治末期の歴史を整理しておく(2時間) 同上(2)(「劣等児」教育に関する長野県の事例) 障害児教育の黎明期後期をまとめておく(2時間)
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	戦前史、大正末期の歴史を整理しておく(2時間) 大正期末の特別学級の実態(文部省『特別学級編制に関する調査』/『全国特殊教育状況』) 障害児教育の振興期をまとめておく(2時間)
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	戦前史、大正末期の歴史と教育を整理しておく(2時間) 大正自由教育と「劣等児」教育(1)(岡山県倉敷の事例) 障害児教育の振興期の実践例をまとめておく(2時間)
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	戦前史、大正末期の歴史と教育を整理しておく(2時間) 同上(2)(奈良女高師附小の事例) 障害児教育の振興期の実践例をまとめておく(2時間)
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	戦中史、整理しておく(2時間) 戦時下の障害者処遇と教育 戦争と障害者の関係性を明らかにする(2時間)
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	戦後史、高度成長期(前期)の歴史を整理しておく(2時間) 「差別としての特殊教育から権利としての障害児教育へ」(1967～1972年) 医療中心の時代から教育の時代への転換点であることをまとめておく(2時間)
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	戦後史、高度成長期(中期)の歴史を整理しておく(2時間) 養護学校義務制予告制令と義務制完全実施をめざすとりくみ(1973～1978年) 障害児全員就学の意義を確認する(3時間)
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	戦後史、高度成長期(中期)の歴史を整理しておく(2時間) 養護学校義務制の施行と国際障害者年の下での教育権保障の深化・拡大(1979～1980年代) これ以後、養護学校教育が発展充実していったことを確認する(2時間)

第 14 回	事前学修 授業内容 事後学修	戦後史、高度成長期(後期)の歴史を整理しておく(2時間) 「特殊教育」への批判と「特別ニーズ教育」の国際的承認(1990年代～) 「場の教育」から「ニーズによる教育」の質的転換を理解する(2時間)
第 15 回	事前学修 授業内容 事後学修	「特殊教育」と「特別支援教育」の相違について調べておく(3時間) 特別支援教育の発足と当面する課題 特別支援教育の推進がインクルーシブ教育システムの構築に繋がることをまとめる(3時間)
<p>【成績評価の方法】 課題レポート(期末)50%、小レポート(中間)30%、平常点 20% 授業への参加度、授業に関する小レポートおよび期末レポート等によって総合的に評価する。</p> <p>【テスト】 使用しない</p> <p>【参考書】 授業中に適宜紹介する。</p> <p>【履修上の注意等】 障害者教育史観を身につけ、理論と実践の往還教育をまなび、共生社会をめざすインクルーシブ教育が実践できるような学生が受講すること。</p>		

授業科目名：教育史演習		教育学・教職
担当教員名：猪瀬 義明		534104/半期/2 単位/演習
【到達目標】		
<p>(1)教育・福祉史の中の人物像とその業績について理解できるようにする。</p> <p>(2)教育・福祉史の中で、その人物が果たした役割と時代的背景が理解できるようにする。</p> <p>(3)上記の学修を通して、それらが現在のイノベーション教育に繋がっていくことを検証できる力を身につける。</p>		
【授業の概要(目的)】		
<p>本講義では、第1回目および第2回目で、教育を歴史的に思考するための方法と「教育の過去」を現在の教育を形成する連続体と捉える視座の獲得について講義をした上で、第3回目から第14回目までは演習形式ですすめていく。受講する学生は、各自担当登場する人物の時代背景を調べ、その時代的要請と人物の演じた役割とを考察し、教育・福祉関係史の発展過程を明確化する。発表内容について受講生全体で検討し、各人物の特色や同時代的な共通点を明らかにしていく。その中で、歴史的普遍的な教育・福祉観を追究していく。第15回においては各人物の実績の積み重ねが、現在のイノベーション教育につながって来たことを明らかにしていく。</p>		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	自己の学んできた歴史についてまとめておく(3時間) 教育史の研究と方法(教育を歴史的に思考するための方法) 教育・福祉史観について整理する。(3時間)
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	編年体でキパーツを調べる(2時間) 教育・福祉関係史とキパーツについて 以下の6名について選出された理由を明らかにする(2時間)
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	人物像を調べる(2時間) 石井 亮(1867年—1937年)研究 ①人物と業績 人物像と業績について再確認する(2時間)
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	時代的背景を調べてくる(2時間) 石井 亮(1867年—1937年)研究 ②業績と時代的検証 教育・福祉の流れを推進した時代的な業績を確認する(2時間)
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	人物像を調べる(2時間) 小林左原台(1880年—1964年)研究 ①人物と業績 人物像と業績について再確認する(2時間)
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	時代的背景を調べてくる(2時間) 小林左原台(1880年—1964年)研究 ②業績と時代的検証 教育・福祉の流れを推進した時代的な業績を確認する(2時間)
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	人物像を調べる(2時間) 杉田 直樹(1887年—1949年)研究 ①人物と業績 人物像と業績について再確認する(2時間)
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	時代的背景を調べてくる(2時間) 杉田 直樹(1887年—1949年)研究 ②業績と時代的検証 教育・福祉の流れを推進した時代的な業績を確認する(2時間)
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	人物像を調べる(2時間) 近藤 益雄(1907年—1964年)研究 ①人物と業績 人物像と業績について再確認する(2時間)
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	時代的背景を調べてくる(2時間) 近藤 益雄(1907年—1964年)研究 ②業績と時代的検証 教育・福祉の流れを推進した時代的な業績を確認する
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	人物像を調べる(2時間) 小林 提樹(1908年—1993年)研究 ①人物と業績 人物像と業績について再確認する(2時間)
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	時代的背景を調べてくる(2時間) 小林 提樹(1908年—1993年)研究 ②業績と時代的検証 教育・福祉の流れを推進した時代的な業績を確認する(2時間)
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	人物像を調べる(2時間) 三木 安正(1911年—1984年)研究 ①人物と業績 人物像と業績について再確認する(2時間)

第 14 回	事前学修 授業内容 事後学修	時代的背景を調べてくる(2時間) 三木 安正(1911年—1984年)研究 ②業績と時代的検証 教育・福祉の流れを推進した時代的な業績を確認する(2時間)
第 15 回	事前学修 授業内容 事後学修	教育・福祉史を全般的にまとめてくる(3時間) 人物史の歴史的検証とインクルーシブ教育について 教育・福祉史観が身につけられるようにする(3時間)
<p>【成績評価の方法】 レポート①「教育・福祉史観」40%、レポート②「課題」30%、平常点 30% 演習における参加の姿勢や、討論への貢献度及びレポートによる達成度等を総合して評価とする。</p> <p>【テスト】 使用しない</p> <p>【参考書】 授業中に適宜紹介する。</p> <p>【履修上の注意等】 教育・福祉史観を身につけ、理論と実践の往還教育をまなび、共生社会をめざすインクルーシブ教育が実践できるような学生が受講すること。</p>		

授業科目名：特別支援教育の理論と方法		教育学
担当教員名：向野 光		534105/半期/2 単位/講義
【到達目標】		
(1)特殊教育から特別支援教育への歴史的変革の過程と意義、その背景を理解することができる。		
(2)ノーマライゼーションからインクルーシブ教育システムの構築へのプロセスを明らかにすることができる。		
(3)特別支援教育について理論と実践の両面から追究することができる。		
【授業の概要(目的)】		
従来の特殊教育から特別支援教育への歴史的変革の意義と、ノーマライゼーションの精神の基づいた特別支援教育の理念の把握、特別支援教育の内容及び方法の研究、理論と実践の両面から追究する。		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	従来の「障がい観」について調べてくる。【1 時間】 特別支援教育の理念(1)「新しい人間観、教育観、障がい観」 「障害者の権利条約」についても整理しておく。【3 時間】
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	「障害者の権利条約」の批准から現在に至るまでを調べてくる。【2 時間】 特別支援教育の理念(2)「教育の基礎構造改革」研究 基本となった法例についてまとめておく。【3 時間】
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	学習指導要領 小・中学部編を読んでおく。【1 時間】 特別支援教育の教育課程(1)「特別支援学校学習指導要領 小・中学部編」研究 学習指導要領と現場の実践の往還教育について考える。【3 時間】
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	学習指導要領 高等部編を読んでおく。【1 時間】 特別支援教育の教育課程(2)「特別支援学校学習指導要領 高等部編」研究 学習指導要領と現場の実践の往還教育について考える。【3 時間】
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	世界史の概要を調べておく。【2 時間】 特別支援教育の歴史(1)「世界の特別支援教育の歴史的変遷」研究 一般世界史と特別支援教育の歴史が対比できるようにする。【3 時間】
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	日本の教育史の概要を調べておく。【2 時間】 特別支援教育の歴史(2)「日本の特別支援教育の歴史的変遷」研究 一般日本史と特別支援教育の歴史が対比できるようにする。【3 時間】
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	自己の研究課題と対比しながら授業に臨むようにする。【1 時間】 特別支援教育研究法(1)「調査研究・文献研究・実験研究」等 「調査研究・文献研究・実験研究」等の先行研究を調べ直す。【3 時間】
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	自己の研究課題と対比しながら授業に臨むようにする。【1 時間】 特別支援教育研究法(2) 実践研究法①「事例研究」等 「事例研究」等の先行研究を調べ直す。【3 時間】
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	自己の研究課題と対比しながら授業に臨むようにする。【1 時間】 特別支援教育研究法(3) 実践研究法②「指導・支援法研究」等 「指導・支援法研究」等の先行研究を調べ直す。【3 時間】
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	自己の研究課題と対比しながら授業に臨むようにする。【1 時間】 特別支援教育研究法(4) 実践研究法③「授業研究」等 「授業研究」等の先行研究を調べ直す。【3 時間】
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	ハンディキャップのある子のライフステージについて考えてくる。【2 時間】 学習指導・支援計画(1)「キャリア教育」・「個別移行支援計画」等研究 ライフステージ全般とその繋ぎ目に当たるものであることを理解する。【3 時間】
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	前時の計画との関連について調べてくる。【2 時間】 学習指導・支援計画(2)「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」等研究 この計画をもとにどのような実践がなされているか整理する。【3 時間】
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	自分の地域社会(市町村)の現状を調べてくる。【2 時間】 特別支援教育と地域社会「スクール・クラスター、コーディネーター、地域連携」研究 地域社会どのような実践がなされているか整理する。【3 時間】
第14回	事前学修 授業内容 事後学修	ユニバーサルデザインとはどのようなものか調べてくる。【2 時間】 特別支援教育と地域社会「インクルーシブ教育とユニバーサルデザイン」研究 各学校でどのような実践がなされているか整理する。【3 時間】

第 15 回	事前学修 授業内容 事後学修	<p>自己の研究課題を整理して授業に臨むようにする。【1時間】</p> <p>まとめと今後の課題「ノーマライゼーションの精神からインクルーシブ教育へ」</p> <p>研究課題が修論に結び付けられるようにする。【3時間】</p>
<p>【成績評価の方法】 平常点(授業の準備、学習態度)30%、課題レポート 50%、発表力 20%等総合的に見て評価する。</p> <p>【テキスト】必要に応じプリントや資料を配布する</p> <p>【参考書】</p> <p>大南英明編『特別支援学校新教育課程編成の手引き』 明治図書, 2010年1月</p> <p>全国特別支援教育推進連盟編『特別支援教育の理解と推進のために～校長・園長必携～』 ジーアース教育新社, 2013年4月</p> <p>【履修上の注意等】ノーマライゼーションの精神やインクルーシブ教育の理念を理解し、ユニバーサルデザインの研究と実践を積極的に実行できる学生が受講すること。</p>		

授業科目名：特別支援教育実践法		教育学
担当教員名：向野 光		534106/半期/2 単位/演習
【到達目標】		
(1)特別支援教育の専門的理論を教育現場に実践的に応用できるようにする。 (2)現場で体験した実践を理論的にまとめることができるようにする。 (3)関係教育機関と共同して、理論と実践の往還教育ができるような力を養う。		
【授業の概要(目的)】		
前期「特別支援教育の理論と方法」を受け、特別支援教育の内容及び方法について、実践面の研究について実例を通してさらに深く追究していく。関係教育機関と共同して実践研究等を実施する。		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	新しい障がい観について調べてくる。【1 時間】 イントロダクション:「新しい人間観、教育観、障がい観等」研究再考 「障害者差別解消法」についても調べておく。【3 時間】
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	小・中・高等学校の現状と課題について調べてくる。【2 時間】 小・中・高等学校の特別支援教育(1) 現状と課題 小・中・高等学校の現状と課題と特別支援教育の共通課題をまとめる。【3 時間】
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	「ダウン症、自閉症等」について再考してくる。【2 時間】 小・中・高等学校の特別支援教育(2) 発達障害研究①「ダウン症、自閉症等」 「ダウン症、自閉症等」の実践例を整理しておく。【3 時間】
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	「ADHD、アスペルガー症候群等」について再考してくる。【2 時間】 小・中・高等学校の特別支援教育(3)発達障害研究②「ADHD、アスペルガー症候群等」 「ADHD、アスペルガー症候群等」の実践例を整理しておく。【3 時間】
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	教育現場で行う研究計画を予め立てておく。【2 時間】 実践研究(1)「教科別の指導・支援」研究① 特別支援学校 実践可能な計画であるか検証する。【2 時間】
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	教育現場での研究内容・方法を事前に調べておく。【2 時間】 実践研究(2)「教科別の指導・支援」研究② 特別支援学級 実践可能な研究内容・方法であるか検証する。【2 時間】
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	教育現場で事前に児童生徒の情報の収集を行う。【2 時間】 実践研究(3)「領域・教科を合わせた指導」(生活単元学習・小・中学部)研究① 生活単元学習・小・中学部)研究の事例を整理する。【2 時間】
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	教育現場で事前に児童生徒の情報の収集を行う。【2 時間】 実践研究(4)「領域・教科を合わせた指導」(生活単元学習・高等部)研究② 生活単元学習・高等部)研究の事例を整理する。【2 時間】
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	教育現場で事前に児童生徒の情報の収集を行う。【2 時間】 実践研究(5)「領域・教科を合わせた指導」(作業学習等)研究 作業学習等)研究の事例を整理する。【2 時間】
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	教育現場で事前に児童生徒の情報の収集を行う。【2 時間】 実践研究(6)「領域・教科を合わせた指導」(遊びの指導)研究 遊びの指導)研究の事例を整理する。【2 時間】
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	教育現場で事前に児童生徒の情報の収集を行う。【2 時間】 実践研究(7)「自立活動」研究 自立活動)研究の事例を整理する。【2 時間】
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	教育現場で事前に授業研究の情報の収集を行う。【2 時間】 実践研究(8) 授業研究 授業研究)の事例を整理する。【3 時間】
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	教育現場で事前の学校経営と特別支援教育の情報の収集を行う。【2 時間】 実践研究(9)「学校経営と特別支援教育」研究 学校経営と特別支援教育)の事例を整理する。【3 時間】
第14回	事前学修 授業内容 事後学修	これまでの情報収集を基に「学級経営 12 ヶ月」を考える。【2 時間】 実践研究(10)「学級経営 12 ヶ月」研究 学校経営から学級経営が導き出せるようにする。【3 時間】

第 15 回	事前学修 授業内容 事後学修	全14回の事例を整理して授業に臨むようにする。【2時間】 まとめと今後の課題「特別支援教育実践法」 理論と実践の往還教育ができるように授業のまとめをする。【3時間】
<p>【成績評価の方法】平常点(授業の準備、学習態度)30%、課題レポート50%、発表力20%等総合的に見て評価する。</p> <p>【テキスト】必要に応じプリントや資料を配布する。</p> <p>【参考書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小出進『生活中心教育の理念と方法』ケアントエイチ,2010年2月 ・広瀬由美子編著『通常の学級担任が見つける資源・つくるネットワーク』東洋館出版社,2007年9月 <p>【履修上の注意等】</p> <p>インクルーシブ教育の理念を理解し、ユニバーサルデザインの研究と実践に真面目に取り組み、理論と実践の往還教育について学び続けることができる学生が受講すること。</p>		

授業科目名：特別支援教育実践演習Ⅰ		教育学・教職
担当教員名：京坂 和憲		534107/半期/2単位/演習
【到達目標】 キャリア発達を促す視点から、特別な教育的ニーズのある児童に対する指導内容方法を学ぶことによって、一人ひとりの教育的ニーズに応じた授業づくりの力量を高め、実践的指導力を身につけることができる。		
【授業の概要(目的)】 特別支援教育における指導の工夫、キャリア教育の意義と視点を確認しながら、学校現場での体験等によって特別な教育的ニーズのある児童生徒の指導に関する知識と方法を習得する。本演習Ⅰはキャリア発達の視点で課題自求を行う。		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	特別支援教育、キャリア教育について調べておく。【3時間】 オリエンテーション「特別支援教育実践演習Ⅰ」の位置づけ、意義 授業内容を整理する。【1時間】
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	演習における自分の課題を整理しておく。【3時間】 自己教育課題の設定と課題検討のグループワーク 授業内容を整理する。【1時間】
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	小学校における特別支援教育の現状を調べておく。【2時間】 現場視察(小学校 教育活動の把握) 視察内容を整理する。【2時間】
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	発達障害について整理しておく。【2時間】 課題研究「通常学級における発達障害児の学習活動」 授業内容を整理する。【2時間】
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	特別支援学級、通級指導教室における学習について整理しておく。【2時間】 課題研究「特別支援学級、通級指導教室における学習活動」 授業内容を整理する。【2時間】
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	特別支援学校の教育課程について調べておく。【2時間】 現場視察(特別支援学校 教育活動の把握) 視察内容を整理する。【2時間】
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	特別支援学校における障害の特徴や学習上の特性について調べておく。【2時間】 課題研究「特別支援学校における学習活動」 授業内容を整理する。【2時間】
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	キャリア教育の現状と課題を調べておく。【2時間】 課題研究「キャリア発達と教育支援計画」 授業内容を整理する。【2時間】
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	課題を整理し、発表レゾメを作成する。【2時間】 課題解決のための方策の立案(小学校、グループ討議、発表) 授業内容を整理する。【2時間】
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	自分の課題に応じた体験の視点を考える。【2時間】 現場体験(小学校通常学級・小学校特別支援学級・通級指導教室) 体験内容を整理する。【2時間】
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	体験内容を整理し、報告レゾメを作成する。【2時間】 現場体験報告会(小学校 教育課題省察と課題自求のグループワーク) 授業内容を整理する。【2時間】
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	課題を整理し、レゾメを作成する。【2時間】 課題解決のための方策の立案(特別支援学校、グループ討議、発表) 授業内容を整理する。【2時間】
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	キャリア教育の視点を踏えて、特別支援学校での学習活動を考える。【2時間】 現場体験(特別支援学校) 体験内容を整理する。【2時間】
第14回	事前学修 授業内容 事後学修	体験内容を整理し、報告レゾメを作成する。【2時間】 現場体験報告会(特別支援学校 教育課題省察と課題自求のグループワーク) 授業内容を整理する。【2時間】

第 15 回	事前学修 授業内容 事後学修	キャリア教育の視点で学んだことを整理し、レポートを作成する。【2時間】 まとめと反省 授業内容を踏まえ、演習のまとめをする。【2時間】
<p>【成績評価の方法】平常点30%、演習への取組40%、レポート30%等により、総合的に評価する。</p> <p>【テキスト】なし</p> <p>【参考書】文部科学省『小学校 キャリア教育の手引き』改訂版，教育出版，2011.6. 他</p> <p>【履修上の注意等】 学校現場の視察あり(社会人として、挨拶、服装、言葉遣い、連絡、報告、時間厳守、健康管理が求められる)</p>		

授業科目名：特別支援教育実践演習Ⅱ		教育学・教職
担当教員名：京坂 和憲		534108/半期/2 単位/演習
【到達目標】 キャリア発達を促す視点から、特別な教育的ニーズのある児童に対する指導内容方法を学ぶことによって、一人ひとりが活躍する学級集団づくりの力を高め、実践的指導力を身につけることができる。		
【授業の概要(目的)】 特別支援教育、ユニバーサルデザイン、キャリア教育等の視点を確認し、学校現場での体験等によって特別な教育的ニーズのある児童の指導に関する知識と方法を習得する。演習Ⅱは個を生かした集団づくりの視点で課題自求を行う。		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	特別支援教育、ユニバーサルデザイン等の視点で集団づくりの課題を整理する。【3時間】 「特別支援教育実践演習Ⅱ」の位置づけ、意義 授業内容を整理する。【1時間】
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	演習における自分の課題を整理しておく。【3時間】 自己教育課題の設定と課題検討のグループワーク 授業内容を整理する。【2時間】
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	小学校における特別支援教育の課題を調べておく。【2時間】 現場視察(小学校 教育活動の把握) 視察内容を整理する。【2時間】
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	キャリア発達とユニバーサルデザインの授業づくりについて整理しておく。【2時間】 課題研究「キャリア発達とユニバーサルデザイン(教科、特別活動等)」 授業内容を整理する。【2時間】
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	発達障害の特性に応じた学級集団づくりについて整理しておく。【2時間】 課題研究「発達障害児理解と学級集団作り」 授業内容を整理する。【2時間】
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	特別支援教育における発達の視点と指導方法について調べておく。【2時間】 現場視察(特別支援学校 教育活動の把握) 視察内容を整理する。【2時間】
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	特別支援教育コーディネーターの役割と教育支援計画の作成について整理しておく。【2時間】 課題研究「特別支援教育コーディネーターと教育支援計画」 授業内容を整理する。【2時間】
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	発達段階に応じたグループ学習について調べておく。【2時間】 課題研究「個別対応の発達の視点とグループ化」 授業内容を整理する。【2時間】
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	課題を整理し、発表レゾメを作成する。【2時間】 課題解決のための方策立案(小学校、グループ討議、発表) 授業内容を整理する。【2時間】
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	自分の課題に応じた体験の視点を考える。【2時間】 現場体験(小学校通常学級・小学校特別支援学級・通級指導教室) 体験内容を整理する。【2時間】
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	体験内容を整理し、報告レゾメを作成する。【2時間】 現場体験報告会(小学校 教育課題省察と課題自求のグループワーク) 授業内容を整理する。【2時間】
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	課題を整理し、レゾメを作成する。【2時間】 課題解決のための方策立案(特別支援学校、グループ討議、発表) 授業内容を整理する。【2時間】
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	自立活動と集団指導の視点を踏まえて、特別支援学校での学習活動を考える。【2時間】 現場体験(特別支援学校) 体験内容を整理する。【2時間】
第14回	事前学修 授業内容 事後学修	体験内容を整理し、報告レゾメを作成する。【2時間】 現場体験報告会(特別支援学校 教育課題省察と課題自求のグループワーク) 授業内容を整理する。【2時間】

第 15 回	事前学修 授業内容 事後学修	演習で学んだことを整理し、レポートを作成する。【2時間】 まとめと反省 授業内容を踏まえ、演習全体のまとめをする。【2時間】
<p>【成績評価の方法】平常点30%、演習への取組40%、レポート30%等により、総合的に評価する。</p> <p>【テキスト】なし</p> <p>【参考書】文部科学省『小学校 キャリア教育の手引き』改訂版，教育出版，2011.6. 他</p> <p>【履修上の注意等】学校現場の視察あり(社会人として、挨拶、服装、言葉遣い、連絡、報告、時間厳守、健康管理が求められる)</p>		

授業科目名：学校経営特論		教育学・教職
担当教員名：猪瀬 義明		534109/半期/2 単位/講義
【到達目標】		
(1)インクルーシブ教育システムの構築のために特別支援教育の推進が不可欠であることが理解できる。		
(2)共生社会の実現をめざしたインクルーシブ教育を軸に据えた学校経営ができる力を養う。		
(3)教育現場のリーダーとなるような教員としての資質・能力・態度を身につけることができる。		
【授業の概要(目的)】		
共生社会の構築をめざしたインクルーシブ教育を推進させる学校経営を、理論面及び実践面から実例を積み重ね深く追究していく。関係教育機関と連携を強化し、実践研究を実施する。		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	学級経営から学校経営へ視野を広げて授業に臨むようにする。【1時間】 イントロダクション:学校経営とは、 学級経営の学校経営共通点と連続性を整理する。【2 時間】
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	前時のまとめを基に学校経営について考える。【2 時間】 学校経営の基本 学校全体を見渡す視点から学校経営の基本を整理する。【3 時間】
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	教育行政について調べてくる。【2 時間】 教育行政と学校経営「共生社会と学校経営」 「共生社会」の視点から「学校経営」を見直し整理する。【3 時間】
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	校務分掌の組織を調べてくる。【1時間】 学校と経営の組織 学校の組織と機能が効果的に組み込まれている様子を整理する。【3 時間】
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	校長・教頭・教務主任の仕事調べてくる。【1時間】 職務とリーダーシップ 組織が機能的に動くためには、リーダーが必要であることを整理する。【3時間】
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	児童生徒の今様を調べてくる。【2 時間】 児童生徒と学校経営 児童生徒の実態や地域性により学校経営が変化することを検証する。【3時間】
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	教育課程について調べてくる。【2 時間】 教育課程と学校経営(1)教育課程編成の基本 教育課程の編成について事例を整理する。【3時間】
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	「交流および共同学習」について調べてくる。【2 時間】 教育課程と学校経営(2)「交流および共同学習」 学校経営の視点で「交流および共同学習」の先行事例についてまとめる。【3時間】
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」について調べてくる。【2 時間】 教育課程と学校経営(3)「個別の教育支援計画」(個別の指導計画) 学校経営の視点で「個別の教育支援計画」等の先行事例についてまとめる。【3 時間】
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	コーディネーター、進路支援、キャリア教育について調べてくる。【2 時間】 教育課程と学校経営(4)コーディネーター、進路支援、キャリア教育 コーディネーター、進路支援主事等が学校経営の要となっていることをまとめる。【3 時間】
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	学校と地域社会の関係性について調べてくる。【2 時間】 学校経営と地域社会(2)地域資源とスクール・クラスター 地域資源の活用例としてのスクール・クラスターの事例を整理する。【3時間】
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	内部評価についてどのようなものがあるか調べてくる。【2時間】 学校経営の評価(1)内部評価 内部評価事例を整理する。【3時間】
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	外部評価・第三者評価についてどのようなものがあるか調べてくる。【2時間】 学校経営の評価(2)第三者評価・学校評議員会 第三者評価・学校評議員会の事例を整理する。【3時間】
第14回	事前学修 授業内容 事後学修	個人評価についてどのようなものがあるか調べてくる。【2時間】 学校経営の評価(3)個人評価(目標申告=評価) 個人評価の他に業績評価についても整理する。【3時間】

第15回	事前学修	全14回の授業内容を整理し、求められるリーダー像を考えてくる。【2時間】
	授業内容	求められるリーダー像、まとめと今後の課題
	事後学修	共生社会をめざす学校経営ができるリーダーシップ像をイメージできるようにする。【3時間】
<p>【成績評価の方法】平常点(授業の準備、学習態度)30%、課題レポート 50%、発表力 20%等総合的に見て評価する。</p> <p>【テキスト】特に使用しない。必要に応じプリントや資料を配布する。</p> <p>【参考書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岸本幸次郎他編著『現代学校経営』福村出版, 1980年11月 ・全国特別支援教育推進連盟編『学級経営と特別支援教育』東洋館出版社, 2013年3月 <p>【履修上の注意等】インクルーシブ教育の理念を理解し、理論と実践の往還教育について学び、共生社会をめざす学校経営ができるリーダーシップ像をイメージできるような学生が受講すること。</p>		

授業科目名：道徳教育実践演習		教育学・教職
担当教員名：内海崎 貴子		534111/半期/2 単位/演習
【到達目標】 適切な教材収集と教材研究の方法を獲得し、道徳の内容に即した授業を組み立て、実践することができる。		
【授業の概要(目的)】 学習指導要領の内容に沿った学年ごとの教材収集および資料の分析、各領域に適切な資料と指導法の選択による学習指導案の作成と模擬授業の実施、より良い授業実践に向けて全体を総括する。		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	シバズを確認し、履修計画作成の準備をする。【1時間】 リエンション:本授業の目的・概要の説明、履修者各自の履修計画作成 作成した履修計画に従って、教材を準備する。【3時間】
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	学習指導要領を読み、重点項目を整理する。【1時間】 学習指導要領内容項目の確認、教材研究方法の説明、授業研究(模擬授業を含む)計画の作成 授業研究計画に従って、教材研究を開始する。【3時間】
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	学習指導要領の当該箇所を読み、教材研究の準備をする。【1時間】 教材研究:主として自分自身に関すること・主として人とのかかわりに関すること(1)小学校1・2年生 授業内容を復習し、教材研究を仕上げる。【3時間】
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	学習指導要領の当該箇所を読み、教材研究の準備をする。【1時間】 教材研究:主として自分自身に関すること・主として人とのかかわりに関すること(2)小学校3・4年生 授業内容を復習し、教材研究を仕上げる。【3時間】
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	学習指導要領の当該箇所を読み、教材研究の準備をする。【1時間】 教材研究:主として自分自身に関すること・主として人とのかかわりに関すること(3)小学校5・6年生 授業内容を復習し、教材研究を仕上げる。【3時間】
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	学習指導要領の当該箇所を読み、授業研究の準備をする。【1時間】 授業研究:主として自分自身に関すること・主として人とのかかわりに関すること(1)小学校1・2年生 授業内容を復習し、学習指導案を仕上げる。【3時間】
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	学習指導要領の当該箇所を読み、授業研究の準備をする。【1時間】 授業研究:主として自分自身に関すること・主として人とのかかわりに関すること(2)小学校3・4年生 授業内容を復習し、学習指導案を仕上げる。【3時間】
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	学習指導要領の当該箇所を読み、授業研究の準備をする。【1時間】 授業研究:主として自分自身に関すること・主として人とのかかわりに関すること(3)小学校5・6年生 授業内容を復習し、学習指導案を仕上げる。【3時間】
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	学習指導要領の当該箇所を読み、教材研究の準備をする。【1時間】 教材研究:主として集団や社会とのかかわりに関すること・主として生命や自然、崇高なものとのかかわりに関すること(1)小学校1・2年生 授業内容を復習し、教材研究を仕上げる。【3時間】
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	学習指導要領の当該箇所を読み、教材研究の準備をする。【1時間】 教材研究:主として集団や社会とのかかわりに関すること・主として生命や自然、崇高なものとのかかわりに関すること(2)小学校3・4年生 授業内容を復習し、教材研究を仕上げる。【3時間】
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	学習指導要領の当該箇所を読み、教材研究の準備をする。【1時間】 教材研究:主として集団や社会とのかかわりに関すること・主として生命や自然、崇高なものとのかかわりに関すること(3)小学校5・6年生 授業内容を復習し、教材研究を仕上げる。【3時間】
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	学習指導要領の当該箇所を読み、授業研究の準備をする。【1時間】 授業研究:主として集団や社会とのかかわりに関すること・主として生命や自然、崇高なものとのかかわりに関すること(1)小学校1・2年生 授業内容を復習し、学習指導案を仕上げる。【3時間】
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	学習指導要領の当該箇所を読み、授業研究の準備をする。【1時間】 授業研究:主として集団や社会とのかかわりに関すること・主として生命や自然、崇高なものとのかかわりに関すること(2)小学校3・4年生 授業内容を復習し、学習指導案を仕上げる。【3時間】
第14回	事前学修 授業内容 事後学修	学習指導要領の当該箇所を読み、授業研究の準備をする。【1時間】 授業研究:主として集団や社会とのかかわりに関すること・主として生命や自然、崇高なものとのかかわりに関すること(3)小学校5・6年生 授業内容を復習し、学習指導案を仕上げる。【3時間】
第15回	事前学修 授業内容 事後学修	これまでの教材研究、学習指導案を整理しておく。【2時間】 全体の振り返り、履修計画・授業計画の相互確認と課題の抽出 授業内容から、今後の課題について研究を進める。【2時間】

【成績評価の方法】

履修者の学習計画および教材研究記録(30%) 授業研究参加記録(30%) 模擬授業のための学習指導案(40%)による総合評価

【テキスト】

文部科学省『小学校学習指導要領解説特別の教科 道徳編』文部科学省『小学校道徳読み物資料集』2011年 文部科学省『わたしたちの道徳1・2年生』『わたしたちの道徳3・4年生』『わたしたちの道徳5・6年生』2014年

【参考書】

文部科学省『こころのノート小学校1・2年』『心のノート小学校3・4年』『心のノート小学校5・6年』『心のノート中学校』『私たちの道徳中学校』 貝塚茂樹著『道徳教育の教科書』学術出版会、2009年 地域資料:例;我孫子市教育委員会『あびこの先人たち』

【履修上の注意等】

教材研究、授業研究を主とすることから、事前・事後学修の時間を十分に確保すること。

授業科目名：国語科教育の理論と方法		教育学・教職
担当教員名：田中 孝一		534112/半期/2 単位/講義
【到達目標】		
(1) 国語科教育に関して学問的・理論的な整理を行い、その体系を理解することができる。		
(2) 国語科の授業の在り方・方法等について多面的・実践的に理解することができる。		
【授業の概要(目的)】		
小学校における国語科教育について、学問的な整理を行うとともに、授業展開のための理論と方法を習得し、実践的な資質と能力を確実に育てる。		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	授業の概要をつかみ、自分の受けた国語科の授業を振り返る。【2 時間】 ガイダンス及び国語科授業に関する自分の体験の振り返り 自分受けた国語科の授業の成果と課題を整理する。【2 時間】
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	学習指導要領等により、教育課程における国語科の位置を理解する。【2 時間】 学校教育における国語科の位置付けと役割 全教育課程における国語科の授業時数の割合等を整理する。【2 時間】
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	学習指導要領解説総則編等により、戦後の国語科の位置付けを整理する。【2 時間】 戦後の国語科教育の制度的仕組み(学習指導要領等から) 国語科の目標、内容等の変遷を整理する。【2 時間】
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	指導論に関する国語科の理論を調べ、整理する。【2 時間】 国語科教育の主な理論(学習者論、目標論、指導論等) 学習者論、目標論を整理する。【2 時間】
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	教材論に関する国語科の理論を調べ、整理する。【2 時間】 国語科教育の主な理論(教材論、評価論等) 評価論を整理する。【2 時間】
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	学習者論に関する国語科の理論を調べ、整理する。【2 時間】 国語科教育の学習者論と目標論(児童の発達段階に応じて、国語科で育成する能力など) 目標と児童の発達段階との関連を整理する。【2 時間】
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	年間指導計画の例を探し、その特徴をまとめる。【2 時間】 国語科教育の指導論(1)単元の構成、指導過程の構成 単元の指導計画のポイントを実例に即してまとめる。【2 時間】
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	国語科の言語活動例をまとめる。【2 時間】 国語科教育の指導論(2)育成する能力と言語活動の設定 指導事項と言語活動例の関係を指導事項に即して具体的にまとめる。【2 時間】
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	読むことの領域の教材の種類をまとめる。【2 時間】 国語科教育の方法(1)文章の種類等に応じた読むことの指導(説明的文章、文学的文章等) 文章の種類に応じた指導事項ごとの内容をまとめる。【2 時間】
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	書くことの領域の指導事項の特色をまとめる。【2 時間】 国語科教育の方法(2)文章表現指導 書くことの指導の簡単な指導案を作成する。【2 時間】
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	話すこと・聞くことの指導事項の特色をまとめる。【2 時間】 国語科教育の方法(3)音声言語指導 書くことの指導の簡単な指導案を作成する。【2 時間】
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	常用漢字表の特色、字数等をまとめる。【2 時間】 国語科教育の方法(4)漢字の指導及び書写の指導 漢字の指導法、書写の指導法の簡単な指導案を作成する。【2 時間】
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	すべての検定教科書の目次等を整理する。【2 時間】 国語科教育の教材論(教科書、教材開発、教材研究) 教材を1つ選択し、教材としての価値等を考察する。【2 時間】
第14回	事前学修 授業内容 事後学修	学習評価の考え方、方法等について、国研の参考資料等を参照してまとめる。【2 時間】 国語科教育の評価論(目標に準拠した評価) 国語科の指導と評価の簡単な計画を作成する。【2 時間】

第 15 回	事前学修 授業内容 事後学修	<p>かキュラム・マネジメントについて調べてまとめる。【2 時間】</p> <p>教育課程経営の視点に立つ国語科の創造(年間指導計画,他教科等との関連等)</p> <p>他教科等も意識した年間指導計画を作成する。【2 時間】</p>
<p>【成績評価の方法】</p> <p>○ 授業への取組状況(関心・意欲・態度)20% ○ 授業における課題レポート(事前学習,事後学修等)30%</p> <p>○ 授業における発表 30% ○ 期末におけるレポート 20%</p> <p>【テキスト】</p> <p>森田信義他『新訂国語科教育学の基礎』溪水社, 平成 25 年</p> <p>【参考書】</p> <p>①全国大学国語教育学会『国語科教育学研究の成果と展望』明治図書, 平成 14 年</p> <p>②浜本純勉『国語科教育総論』溪水社, 平成 23 年</p> <p>③『国語教育史資料』全 6 巻 東京法令, 昭和 56 年</p> <p>④国立教育政策研究所教育課程研究センター『評価規準の作成のための参考資料(小学校)』, 平成 22 年</p> <p>⑤国立教育政策研究所教育課程研究センター『評価方法等の工夫改善のための参考資料(小学校)』, 平成 23 年</p> <p>⑥文部科学省・国立教育政策研究所「全国学力・学習状況調査」問題及び関連資料, 平成 19~27 年</p> <p>(④,⑤,⑥については各ホームページで検索可能)</p> <p>【履修上の注意等】</p> <p>特になし。</p>		

授業科目名：国語科教育実践演習		教育学・教職
担当教員名：田中 孝一		534113/半期/2 単位/演習
【到達目標】		
(1) 国語科教育に関して、実際の授業展開のための実践的な資質と能力を確実に高める。		
(2) 指導と評価の計画を作成しそれに基づく1単元の授業を行うことができる。		
【授業の概要(目的)】		
小学校における国語科を1教師として担当することを想定して、教科の構造、教材、指導と評価、評価問題の作成等の視点に立って課題設定を行い、その実践演習を通して、実践的な資質と能力を高める。		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	授業の概要をつかみ、国語科授業の課題等について整理する。【2時間】 ガイダンス及び国語科授業の在り方のまとめ 国語科授業の課題の解決のために必要な事柄をまとめる。【2時間】
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	現代の教育課題を挙げ、その要因等について整理する。【2時間】 現代の教育課題と国語科教育の役割(基礎的・汎用的能力、キー・コンピテンシー、言語活動の充実) 国語科教育がこれから求められる資質能力の向上にいかに関与すべきかまとめる。【2時間】
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	全国の取組の中から1つ選び、紹介する資料を作成する。【2時間】 国語科教育の現状(全国の取組における成果と課題) 全国の取組の中から成果の大きい取組について考察する。【2時間】
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	学習指導要領国語科の趣旨、内容等についてまとめる。【2時間】 現行教育課程国語科の構造(1)学習指導要領が示す国語科の目標、内容等と仕組み 国語科の授業の課題について、学習指導要領の趣旨から整理する。【2時間】
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	言語活動例を生かした授業の事例をまとめる。【2時間】 現行教育課程国語科の構造(2)指導事項と言語活動例の関連 指導目標と言語活動例との関係を整理する。【2時間】
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	教科書の教材から同じ領域の教材をまとめる。【2時間】 国語科の教材の特質(教材開発、教材化、教科書教材) 新聞記事から教材として使用できる資料を選定し、育成する能力を設定する。【2時間】
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	指導目標と評価規準との関係を整理する。【2時間】 国語科の授業研究(1)指導と評価の一体化と評価の観点 評価の観点に基づく指導目標を設定する。【2時間】
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	国研の参考資料から国語科の指導計画のポイントをまとめる。【2時間】 国語科の授業研究(2)指導と評価の計画の考え方 具体的な指導計画における評価の方法等の適切さ等をまとめる。【2時間】
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	実際の小学校の指導計画の例に基づき、その特徴等をまとめる。【2時間】 国語科の授業研究(3)指導と評価の計画の実例の検討(以下、グループ活動) 実際の授業をイメージして、指導計画の効果を確かめる。【2時間】
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	授業の基になった指導計画のポイントをまとめる。【2時間】 国語科の授業研究(4)指導と評価の計画に基づく実践授業例の検討 実践授業例のいい点と改善点をまとめる。【2時間】
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	授業を行う領域等を学習指導要領を基に決める。【2時間】 国語科の授業研究(5)単元又は1時間の指導と評価の計画の作成 作成した指導計画を再検討し修正する。【2時間】
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	授業の流れ、板書計画等を確認し、シミュレーションを行う。【2時間】 国語科の授業展開の実際(1)指導と評価の計画に基づく授業実践(模擬授業) 行った授業のよかった点、改善点をまとめる。【2時間】
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	行った授業の修正案を作成する。【2時間】 国語科の授業展開の実際(2)指導と評価の計画に基づく授業実践の検討 授業の修正案を完成させ、そのポイントをまとめる。【2時間】
第14回	事前学修 授業内容 事後学修	全国学力・学習状況調査の概要をまとめる。【2時間】 評価問題の作成の技術と実際(1)テストと学習評価(全国学力・学習状況調査の問題の検討) 評価問題作成のポイントをまとめる。【2時間】

第 15 回	事前学修 授業内容 事後学修	行った授業に基づく評価問題を作成する。【2時間】 評価問題の作成の技術と実際(2)テスト作成の実際 作成した評価問題と指導計画と一体性を点検する。【2時間】
<p>【成績評価の方法】</p> <p>○ 授業への取組状況20% ○ 授業における課題レポート(事前学習,事後学修等)30%</p> <p>○ 授業における発表30% ○ 期末におけるレポート20%</p> <p>【テキスト】</p> <p>森田信義他『新訂国語科教育学の基礎』溪水社, 平成 25 年</p> <p>【参考書】</p> <p>①全国大学国語教育学会『国語科教育学研究の成果と展望』明治図書, 平成 14 年</p> <p>②浜本純逸『国語科教育総論』溪水社, 平成 23 年</p> <p>③『国語教育史資料』全 6 巻 東京法令, 昭和 56 年</p> <p>④国立教育政策研究所教育課程研究センター『評価規準の作成のための参考資料(小学校)』, 平成 22 年</p> <p>⑤国立教育政策研究所教育課程研究センター『評価方法等の工夫改善のための参考資料(小学校)』, 平成 23 年</p> <p>⑥文部科学省・国立教育政策研究所「全国学力・学習状況調査」問題及び関連資料, 平成 19~27 年</p> <p>(④,⑤,⑥については各ホームページで検索可能)</p> <p>【履修上の注意等】</p> <p>特になし。</p>		

授業科目名：算数科教育の理論と方法		教育学・教職
担当教員名：原田 耕平		534114/半期/2 単位/講義
【到達目標】算数学習における子どもの認識の特徴とそれともなう学習の困難性を理論的に説明できる。 ・子どもの認識の発展を支援する多様な算数学習の理論と指導法を理解し、具体的な指導事例を構築できる。		
【授業の概要(目的)】算数学習における子どもの認識の特徴と学習の困難性を明確にするために、ピアジェの認知心理学をベースにした分析を行うとともに、算数学習での子どもの認識の発展を支援する学習指導法の理論と指導法を探究する。		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	シラバスによって授業内容を理解し、子どもの認知発達について調べる。[2 時間] 子どもの認知発達と算数学習の課題 他の書籍によって子どもの認知発達と算数学習の課題を整理する。[2 時間]
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	子どもの認知発達段階と思考の特徴について調べる。[2 時間] 子どもの認知発達段階と思考の特徴(1) 感覚・運動的知能段階 他の書籍によって感覚・運動的知能段階の思考の特徴を整理する。[2 時間]
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	子どもの認知発達段階と思考の特徴について調べる。[2 時間] 子どもの認知発達段階と思考の特徴(2) 前操作的知能段階 他の書籍によって前操作的知能段階の思考の特徴を整理する。[2 時間]
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	子どもの認知発達段階と思考の特徴について調べる。[2 時間] 子どもの認知発達段階と思考の特徴(3) 具体的操作思考段階 他の書籍によって具体的操作思考段階の思考の特徴を整理する。[2 時間]
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	子どもの認知発達段階と思考の特徴について調べる。[2 時間] 子どもの認知発達段階と思考の特徴(4) 形式的操作思考段階 他の書籍によって形式的操作思考段階の思考の特徴を整理する。[2 時間]
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	算数学習における子どもの困難性について数と計算の領域で調べる。[2 時間] 算数学習における子どもの困難性(1) 数と計算の領域 算数学習における子どもの困難性について数と計算の領域で整理する。[2 時間]
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	算数学習における子どもの困難性について量と測定の領域で調べる。[2 時間] 算数学習における子どもの困難性(2) 量と測定の領域 算数学習における子どもの困難性について量と測定の領域で整理する。[2 時間]
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	算数学習における子どもの困難性について図形の領域で調べる。[2 時間] 算数学習における子どもの困難性(3) 図形の領域 算数学習における子どもの困難性について図形の領域で整理する。[2 時間]
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	算数学習における子どもの困難性について数量関係の領域で調べる。[2 時間] 算数学習における子どもの困難性(4) 数量関係の領域 算数学習における子どもの困難性について数量関係の領域で整理する。[2 時間]
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	子どもの認識を支援する算数学習の理論としてピアジェの均衡化理論を調べる。[2 時間] 子どもの認識を支援する算数学習の理論と指導法(1)ピアジェの均衡化理論 算数学習の理論と指導法としてピアジェの均衡化理論を整理する。[2 時間]
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	子どもの認識を支援する算数学習の理論としてピアジェ学派の学習理論を調べる。[2 時間] 子どもの認識を支援する算数学習の理論と指導法(2)ピアジェ学派の学習理論 算数学習の理論と指導法としてピアジェ学派の学習理論を整理する。[2 時間]
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	子どもの認識を支援する算数学習の理論として新ピアジェ学派の学習理論を調べる。[2 時間] 子どもの認識を支援する算数学習の理論と指導法(3)新ピアジェ学派の学習理論 算数学習の理論と指導法として新ピアジェ学派の学習理論を整理する。[2 時間]
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	子どもの認識を支援する算数学習の理論として社会的構成主義の学習理論を調べる。[2 時間] 子どもの認識を支援する算数学習の理論と指導法(4)社会的構成主義の学習理論 算数学習の理論と指導法として社会的構成主義の学習理論を整理する。[2 時間]
第14回	事前学修 授業内容 事後学修	子どもの認識を支援する算数学習の理論として学習障害児の学習理論を調べる。[2 時間] 子どもの認識を支援する算数学習の理論と指導法(5)学習障害児を支援する学習理論 算数学習の理論と指導法として学習障害児を支援する学習理論を整理する。[2 時間]
第15回	事前学修 授業内容 事後学修	子どもの認識の発展を支援する算数学習の理論と指導法を整理する。[2 時間] 子どもの認識の発展を支援する算数指導法の開発(まとめ) 子どもの認識の発展を支援する算数指導法の開発を整理する。[2 時間]

【成績評価の方法】

授業準備 20%、発表 20%、小レポート 20%、総合レポート 40%

【テキスト】

とくに使用しない。

【参考書】

C.がい・C.クレーグ『子どもと新しい算数』北大路書房, 1987

小高俊夫『算数・数学学習に認知科学は役立つか』東洋館, 1992

Hansen, A.: *Children's Errors in Mathematics*, Learning Matters, 2005, 他

【履修上の注意等】

英文資料の講読を含める。

授業科目名：算数科教育実践演習		教育学・教職
担当教員名：原田 耕平		534115/半期/2 単位/演習
【到達目標】・戦後のわが国の算数教育カリキュラムの諸改訂における教育目標・内容とその指導法の特徴を説明できる。・近年の代表的な算数指導法の特徴と意義を理解し、演習・模擬授業を通じて多様な実践法を身につける。		
【授業の概要(目的)】戦後のわが国算数教育カリキュラムの諸改訂における教育目標・内容とその指導法の特徴を明確にした上で、近年における代表的な算数指導法の特徴と意義について理解し、演習・模擬授業を通じて、多様な実践法を探究する。		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	シラバスによって授業内容を理解し、算数教育におけるカリキュラム構成の特徴を調べる。[2 時間] 算数教育におけるカリキュラム構成と学習指導法 算数教育におけるカリキュラム構成と学習指導法の特徴を整理する。[2 時間]
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	経験主義カリキュラムにおける算数指導法の特徴を調べる。[2 時間] 経験主義カリキュラムにおける算数指導法(昭和 20 年代) 経験主義カリキュラムにおける算数指導法の特徴を整理する。[2 時間]
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	系統主義カリキュラムにおける算数指導法の特徴を調べる。[2 時間] 系統主義カリキュラムにおける算数指導法(昭和 30 年代) 系統主義カリキュラムにおける算数指導法の特徴を整理する。[2 時間]
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	科学主義カリキュラムにおける算数指導法の特徴を調べる。[2 時間] 科学主義カリキュラムにおける算数指導法(昭和 40 年代) 科学主義カリキュラムにおける算数指導法の特徴を整理する。[2 時間]
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	基礎・基本重視カリキュラムにおける算数指導法の特徴を調べる。[2 時間] 基礎・基本重視カリキュラムにおける算数指導法(昭和 50 年代) 基礎・基本重視カリキュラムにおける算数指導法の特徴を整理する。[2 時間]
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	個性重視カリキュラムにおける算数指導法の特徴を調べる。[2 時間] 個性重視カリキュラムにおける算数指導法(平成元年代) 個性重視カリキュラムにおける算数指導法の特徴を整理する。[2 時間]
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	ゆとり重視カリキュラムにおける算数指導法の特徴を調べる。[2 時間] ゆとり重視カリキュラムにおける算数指導法(平成 10 年代) ゆとり重視カリキュラムにおける算数指導法の特徴を整理する。[2 時間]
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	確かな学力(算数的活動)重視カリキュラムにおける算数指導法の特徴を調べる。[2 時間] 確かな学力(算数的活動)重視カリキュラムにおける算数指導法(平成 20 年代) 確かな学力(算数的活動)重視カリキュラムにおける算数指導法の特徴を整理する。[2 時間]
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	子どものミスコンセプションを活かした算数指導法の特徴を調べる。[2 時間] 子どものミスコンセプションを活かした算数指導法(診断的教授法) ミスコンセプションを活かした算数指導法の特徴を整理する。[2 時間]
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	子どもの多様な考えを活かした算数指導法の特徴を調べる。[2 時間] 子どもの多様な考えを活かした算数指導法(オープンアプローチによる学習指導法) 子どもの多様な考えを活かした算数指導法の特徴を整理する。[2 時間]
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	実験・観察を取り入れた算数指導法の特徴を調べる。[2 時間] 実験・観察を取り入れた算数指導法 実験・観察を取り入れた算数指導法の特徴を整理する。[2 時間]
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	話し合い・練り上げを活かした算数指導法の特徴を調べる。[2 時間] 話し合い・練り上げを活かした算数指導法 話し合い・練り上げを活かした算数指導法の特徴を整理する。[2 時間]
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	子どもの推論的活動を支援する算数指導法の特徴を調べる。[2 時間] 子どもの推論的活動を支援する算数指導法 子どもの推論的活動を支援する算数指導法の特徴を整理する。[2 時間]
第14回	事前学修 授業内容 事後学修	コンピュータ利用による算数指導法の特徴を調べる。[2 時間] コンピュータ利用による算数指導法(ICT 活用による学習指導法) コンピュータ利用による算数指導法の特徴を整理する。[2 時間]
第15回	事前学修 授業内容 事後学修	多様な算数指導法の特徴と意義を整理する。[2 時間] 学習指導法の開発と研究法(まとめ) 独創的な教材研究と学習指導法を開発する。[2 時間]

【成績評価の方法】

授業準備 20%、発表 20%、小レポート 20%、総合レポート 40%

【テキスト】

とくに使用しない。

【参考書】

吉川成夫『小学校算数科基礎・基本と学習指導の実際』東洋館出版, 2002

Bell,A.: *Diagnostic Teaching in Mathematics*. Shell Centre, University of Nottingham, 1981.

Ryan,J. and Williams,J.: *Children's Mathematics 4-14 Learning from errors and misconceptions*.

Open University Press, 2007. 他

【履修上の注意等】

英文資料の講読を含める。

授業科目名：生活科教育の理論と方法		教育学
担当教員名：富士 顕士		534116/半期/2 単位/講義
【到達目標】		
<ul style="list-style-type: none"> 生活科の設定の経緯と生活科の教育目的・目標・内容の歴史的変遷について理解し、説明することができる。 生活科教育の理論と方法を理解し、児童の発達的特徴をふまえた授業展開ができる資質と能力を確実にする。 		
【授業の概要(目的)】		
小学校生活科の設立の経緯、生活科の教育目的・目標・内容とその歴史的変遷、低学年児童の発達的特徴等をもとにして、生活科の学習指導法の理論と方法を習得し、授業展開を実践できる資質と能力を確実に習得することを目的とする。		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	小学校学習指導要領の確認【2時間】 オリエンテーション(授業の趣旨、内容、方法、評価等)及び小学校の教育課程 学修計画の作成【2時間】
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	生活科の位置づけに関する予習【2時間】 教育課程における生活科の位置づけと役割 生活科の位置づけと役割に関する復習【2時間】
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	生活と関連づけた授業の歴史について予習【2時間】 生活科教育の歴史的変遷と課題 生活科教育の歴史的変遷に関する復習・生活科教育の課題についての整理【2時間】
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	生活科の目的と目標に関する予習【2時間】 カリキュラム論(1)(生活科教育の目的論と目標論) 生活科教育の目的論と目標論に関する復習【2時間】
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	生活科の内容と教材に関する予習【2時間】 カリキュラム論(2)(生活科教育の内容論と教材論) 生活科教育の内容論と教材論に関する復習【2時間】
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	生活科のカリキュラム構成に関する予習【2時間】 カリキュラム論(3)(生活科教育のカリキュラム構成論) 生活科教育のカリキュラム構成論に関する復習【2時間】
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	生活科から理科と社会科への接続に関する学習指導要領での配慮について【2時間】 カリキュラム論(4)(理科と社会科への接続に関する配慮) 理科と社会科への接続に関する復習【2時間】
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	遊びを中心とした指導法に関する予習【2時間】 学習指導論(1)(遊びを中心とした指導法) 遊びを中心とした指導法に関する復習【2時間】
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	生活体験を中心とした指導法に関する予習【2時間】 学習指導論(2)(児童の生活体験を中心とした指導法) 生活体験を中心とした指導法に関する復習【2時間】
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	地域探検を中心とした指導法に関する予習【2時間】 学習指導論(3)(地域探検を中心とした指導法) 地域探検を中心とした指導法に関する復習【2時間】
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	もの作りを中心とした指導法に関する予習【2時間】 学習指導論(4)(もの作りを中心とした指導法) もの作りを中心とした指導法に関する復習【2時間】
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	栽培・飼育を中心とした指導法に関する予習【2時間】 学習指導論(5)(栽培・飼育を中心とした指導法) 栽培・飼育を中心とした指導法に関する復習【2時間】
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	生活科の目標と評価の方法に関する予習【2時間】 学習評価論(1)(生活科の目標と評価の方法) 生活科の目標と評価の方法に関する復習【2時間】
第14回	事前学修 授業内容 事後学修	指導と評価の一体化についての復習【2時間】 学習評価論(2)(指導と評価の一体化と学習指導法) 指導と評価の一体化と学習指導法に関する復習【2時間】

第 15 回	事前学修 授業内容 事後学修	授業の振り返り【2 時間】 生活科教育における学習指導法の開発及び研究法(まとめ) 生活科の指導法と研究法についてのまとめ【2 時間】
<p>【成績評価の方法】 授業の準備と学習への取り組み状況(30%),毎回の授業の課題についての達成度(30%),レポート(40%)を総合的に判断して評価する。</p> <p>【テキスト】 とくに使用しない。</p> <p>【参考書】 小原友行・朝倉淳編著『生活科教育 21 世紀のための教育創造』学術図書出版社, 2010 木村吉彦編『小学校新学習指導要領の展開 生活科編』明治図書, 2008 ドミニク・S・ライチェン他(立田慶裕監訳)『キーコンピテンシー 国際標準の学力を目指して』明石書店, 2006</p> <p>【履修上の注意等】 事前学修及び事後学修は参考書や研究報告書なども活用して行うこと。</p>		

授業科目名：理科教育の理論と方法		教育学
担当教員名：富士 顕士		534117/半期/2 単位/講義
【到達目標】		
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校理科のカリキュラム論と学習指導論を理解し、説明することができる。 ・小学校理科教育の理論と方法を理解し、児童の実態に応じた授業展開ができる資質・能力を確実にする。 		
【授業の概要(目的)】		
小学校理科教育のカリキュラム論と学習指導論を明確にしたうえで、授業展開のための理論と方法を習得し、授業展開を実践できる資質・能力を確実に習得することを目的とする。		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	小学校学習指導要領における理科についての予習【2 時間】 オリエンテーション(授業の趣旨,内容,方法,評価等)と理科の役割 理科の役割に関する復習【2 時間】
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	理科の役割に関する予習【2 時間】 学校教育における理科の位置づけ 学校教育における理科の位置づけに関する復習【2 時間】
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	戦前の理科教育に関する予習【2 時間】 戦前の理科教育の思想と実践 戦前の理科教育の思想と実践に関する復習【2 時間】
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	戦後の理科教育の思想と実践に関する予習【2 時間】 戦後の理科教育の思想と実践 戦後の理科教育の思想と実践に関する復習【2 時間】
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	戦後の理科教育の制度に関する予習【2 時間】 戦後の理科教育における制度的仕組み 戦後の理科教育における制度的仕組みに関する復習【2 時間】
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	理科教育の目的論と目標論に関する予習【2 時間】 カリキュラム論(1)(理科教育の目的論と目標論) 理科教育の目的論と目標論に関する復習【2 時間】
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	理科教育の内容論と教材論に関する予習【2 時間】 カリキュラム論(2)(理科教育の内容論と教材論) 理科教育の内容論と教材論に関する復習【2 時間】
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	理科教育のカリキュラム構成論に関する予習【2 時間】 カリキュラム論(3)(理科教育のカリキュラム構成論) 理科教育のカリキュラム構成論に関する復習
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	行動主義学習論に関する予習【2 時間】 学習指導論(1)(行動主義学習論の理論と方法) 行動主義学習論の理論と方法に関する復習【2 時間】
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	認知主義学習論に関する予習【2 時間】 学習指導論(2)(認知主義学習論の理論と方法) 認知主義学習論の理論と方法に関する復習【2 時間】
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	構成主義学習論に関する予習【2 時間】 学習指導論(3)(構成主義学習論の理論と方法) 構成主義学習論の理論と方法に関する復習【2 時間】
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	概念形成と概念転換に関する予習【2 時間】 学習指導論(4)(概念形成と概念転換の学習理論と方法) 概念形成と概念転換の学習理論と方法に関する復習【2 時間】
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	理科と他教科との合科的指導法に関する予習【2 時間】 学習指導論(5)(他教科等との合科的指導法) 他教科等との合科的指導法に関する復習【2 時間】
第14回	事前学修 授業内容 事後学修	指導と評価の一体化の考え方に関する予習【2 時間】 学習評価論(指導と評価の一体化と学習指導法) 指導と評価の一体化と学習指導法に関する復習【2 時間】

第 15 回	事前学修 授業内容 事後学修	授業の振り返り【2時間】 理科教育における学習指導法の開発及び研究法(まとめ) 理科教育における学習指導法の開発及び研究法についてのとりまとめ【2時間】
<p>【成績評価の方法】 授業の準備と学習への取り組み状況(30%),毎回の授業の課題についての達成度(30%),レポート(40%)等を総合的に判断して評価する。</p> <p>【テキスト】 とくに使用しない。</p> <p>【参考書】 角屋重樹編著『新しい学びを拓く理科授業の理論と実践』ネルヴァ書房, 2011 橋本健夫・鶴岡義彦・川上昭吾編著『現代理科教育改革の特色とその具現化』東洋館出版社, 2010 デイルック・ホツン(小川正賢監訳)『新しい理科授業学習論』東洋館出版社, 2000</p> <p>【履修上の注意等】 事前学修及び事後学修は参考書や研究報告書なども活用して行うこと。</p>		

授業科目名：理科教育実践演習		教育学
担当教員名：福士 顯士		534118／半期／2 単位／演習
【到達目標】 ・戦後の我が国の理科教育カリキュムの改訂における教育目標・教育内容と指導法の特徴を説明できる。 ・小学校理科の授業展開のための多様な実践的指導力を身につけ、児童の実態に応じた指導ができる。		
【授業の概要(目的)】 戦後の我が国の理科教育カリキュムの改訂における教育目標・教育内容と指導法の特徴を明確にする。 そのうえで、小学校理科の授業展開のための多様な実践的指導力を身につけることを目的とする。		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	シラバスに基づき、授業全体の構成について調べる。【2 時間】 オリエンテーション(授業の趣旨,内容,方法,評価等) 授業を振り返り,学修計画を立てる。【2 時間】
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	生活単元学習の時代における理科指導法の特徴について調べる。【2 時間】 生活単元学習の時代における理科指導法(昭和 20 年代) 生活単元学習の時代における理科指導法の特徴についてまとめる。【2 時間】
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	系統学習と探究学習の時代における理科指導法の特徴について調べる。【2 時間】 系統学習と探究学習の時代における理科指導法(昭和 30 年代~昭和 40 年代) 系統学習と探究学習の時代における理科指導法の特徴についてまとめる。【2 時間】
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	ゆとりの学習と選択学習の時代における理科指導法の特徴について調べる。【2 時間】 ゆとりの学習と選択学習の時代における理科指導法(昭和 50 年代~平成 10 年) ゆとりの学習と選択学習の時代における理科指導法の特徴についてまとめる。【2 時間】
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	生きる力と総合的な学習の時代における理科指導法の特徴について調べる。【2 時間】 生きる力と総合的な学習の時代における理科指導法(平成 10 年代) 生きる力と総合的な学習の時代における理科指導法の特徴についてまとめる。【2 時間】
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	充実した理科教育への回帰の時代における理科指導法の特徴について調べる。【2 時間】 充実した理科教育への回帰の時代における理科指導法(平成 20 年代) 充実した理科教育への回帰の時代における理科指導法の特徴についてまとめる。【2 時間】
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	理科授業の指導計画の作成について調べる。【2 時間】 理科の授業展開と指導計画の作成法 理科授業の指導計画の作成についてまとめる。【2 時間】
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	理科の教材研究の方法について調べる。【2 時間】 理科の授業展開と教材研究の方法 理科の教材研究の方法についてまとめる。【2 時間】
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	理科における観察・実験の方法について調べる。【2 時間】 理科の授業展開と観察・実験の方法 理科における観察・実験の方法についてまとめる。【2 時間】
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	理科授業における安全指導の方法について調べる。【2 時間】 理科の授業展開と安全指導の方法 理科授業における安全指導の方法についてまとめる。【2 時間】
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	理科における教材開発の方法について調べる。【2 時間】 理科の授業展開と教材開発の方法 理科における教材開発の方法についてまとめる。【2 時間】
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	理科における評価について調べる。【2 時間】 理科の授業展開と評価の方法 理科における評価についてまとめる。【2 時間】
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	模擬授業の計画を立て,準備を行う。【2 時間】 理科の授業展開の実際(1)(模擬授業の実施) 模擬授業の結果について整理する。【2 時間】
第14回	事前学修 授業内容 事後学修	模擬授業の結果をもとに,授業を自己評価する。【2 時間】 理科の授業展開の実際(2)(模擬授業の評価) 模擬授業の評価を整理し,授業改善の計画を作成する。【2 時間】

第15回	事前学修 授業内容 事後学修	改善計画に基づき,授業の準備をする。【2時間】 授業実践による理論的構築(理論と実践の往還) 行った授業について評価を行い,更なる改善の計画を作成する。【2時間】
<p>【成績評価の方法】 授業の準備と学習への取り組み状況(20%),毎回の授業の課題についての達成度(30%),レポート等(50%)を総合的に判断して評価する。</p> <p>【テキスト】 とくに使用しない</p> <p>【参考書】 角屋重樹編著『新しい学びを拓く理科授業の理論と実践』ミネルヴァ書房 橋本健夫・鶴岡義彦,川上昭吾編著『現代理科教育改革の特色とその具現化』東洋館出版社 小川正賢監訳,片平克弘他訳『新しい理科授業学習論』東洋館出版社</p> <p>【履修上の注意等】 特になし</p>		

授業科目名：保健科教育実践演習		教育学
担当教員名：坂口 早苗		534120／半期／2単位／演習
【到達目標】 小学校保健科教育について、授業計画の設計と授業展開のための実践的指導力を習得し、確実にする。 授業展開の理論と授業実践の往還により、授業実践力が向上する。		
【授業の概要(目的)】 小学校の保健科教育の実践のために、自己の研究・実践を省察する能力を身につけるとともに、保健学習における課題の設定を行い、模擬授業を通して実践的指導力を高める。		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	体育科の保健領域の内容を確認する。【1時間】 リエンテーション(授業の趣旨、内容、方法、評価等) 本講義のポートフォリオ用のファイルを用意し、本時の内容を整理する。【1時間】
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	現代における保健教育の現状を観察する。【2時間】 現代における保健教育の現状(小学校~高校) 保健教育の現状をまとめる。【2時間】
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	小学校保健教育の課題を見つける。【2時間】 小学校保健教育における現状と課題 課題を分析する。【2時間】
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	保健教育の内容を把握する。【2時間】 現行教育課程における保健領域の教育内容の構造(発達、生活、環境等の視点) 発達、生活、環境等の視点から解析する。【2時間】
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	すべての検定教科書の目次から適した教材を探す。【2時間】 保健学習における教材開発(教材化の方法、教科書教材の意義) 独創的な教材研究と学習指導法を開発する。【2時間】
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	年間指導計画の例を探し、その特徴をまとめる。【2時間】 保健学習における指導過程(年間計画、単元計画、授業計画) 単元の指導計画のポイントを実例に即してまとめる。【2時間】
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	保健領域の評価について調べる。【1時間】 保健領域における評価法の開発(指導と評価の一体化) 指導と評価の一体化と学習指導法に関する開発を試みる。【3時間】
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	授業研究する課題を設定する。【1時間】 保健学習における授業研究(1)(研究課題の設定) 課題に関する授業展開案を作成する。【3時間】
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	単元計画における課題の位置づけを考える。【2時間】 保健学習における授業研究(2)(単元計画と授業設計) 単元計画と授業設計を整理する。【2時間】
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	開発した教材を使用し、授業計画を立案する。【2時間】 保健学習における授業研究(3)(教材開発) 授業計画を振り返り、訂正する。【2時間】
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	1校時の指導案を作成する。【2時間】 保健学習における授業研究(4)(1校時の指導案作成) 指導案を再考する。【2時間】
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	授業の流れ、板書計画等を確認し、シミュレーションを行う。【2時間】 授業計画に基づく授業実践(模擬授業) 行った授業の良かった点と改善点をまとめる。【2時間】
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	行った授業の修正案を作成する。【2時間】 授業計画に基づく授業実践の検討(自己省察) 授業の修正案を完成させ、そのポイントをまとめる。【2時間】
第14回	事前学修 授業内容 事後学修	現場での学習活動を視察する。【2時間】 授業実践に基づく理論的構築(理論と実践の往還) 視察内容を整理する。【2時間】

第 15 回	事前学修 授業内容 事後学修	視察内容から新たな課題を発見する。【2時間】 授業実践についての討議(新たな研究課題の発見) 研究課題をまとめ、提出する。【4時間】
<p>【成績評価の方法】 授業の準備と学習への取り組み状況 30%、課題についての達成度 30%、レポート 40%を総合的に判断して評価する。レポートは添削後、返却する。</p> <p>【テキスト】 とくに使用しない。</p> <p>【参考書】 適宜指示する。</p> <p>【履修上の注意等】 履修者の希望により授業時間帯を決定する。また、児童の健康と安全に関する内容についてのトピックスにより、内容を変更する場合がある。</p>		

授業科目名：体育科教育の理論と方法		教育学
担当教員名：松本 祐介		534121/半期/2 単位/講義
【到達目標】		
<ul style="list-style-type: none"> ・体育科教育学の基礎的知識を身につけることができる。 ・体育科教育学における研究方法論を理解することができる。 		
【授業の概要(目的)】		
体育科教育学の基礎的知識を、大きくカリキュラム論と学習指導論に分けて学習し理解を深めるとともに、体育授業を客観的に反省し、授業の質と能力の向上を目指していくため、体育科教育学における研究方法論を学ぶ。		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	当該箇所のテキストの予習(2時間) 体育科教育学とは チェックテストレポートの作成(2時間)
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	当該箇所のテキストの予習(2時間) 体育のカリキュラム論(1)体育領域の位置と役割 チェックテストレポートの作成(2時間)
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	当該箇所のテキストの予習(2時間) 体育のカリキュラム論(2)制度的条件 チェックテストレポートの作成(2時間)
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	当該箇所のテキストの予習(2時間) 体育のカリキュラム論(3)体育のカリキュラム構成 チェックテストレポートの作成(2時間)
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	当該箇所のテキストの予習(2時間) 体育のカリキュラム論(4)体育カリキュラムモデルとカリキュラム評価 チェックテストレポートの作成(2時間)
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	当該箇所のテキストの予習(2時間) 体育の学習指導論(1)よい体育授業の条件 チェックテストレポートの作成(2時間)
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	当該箇所のテキストの予習(2時間) 体育の学習指導論(2)英語圏にみる学習指導論 チェックテストレポートの作成(2時間)
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	当該箇所のテキストの予習(2時間) 体育の学習指導論(3)日本にみる学習指導論 チェックテストレポートの作成(2時間)
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	当該箇所のテキストの予習(2時間) 体育の学習指導論(4)体育の教材・教具論 チェックテストレポートの作成(2時間)
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	当該箇所のテキストの予習(2時間) 体育の学習指導論(5)体育の教師行動論 チェックテストレポートの作成(2時間)
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	当該箇所のテキストの予習(2時間) 体育の学習指導論(6)体育の学習者論(特別支援教育を含む) チェックテストレポートの作成(2時間)
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	研究方法論とは、を調べておく(2時間) 体育科教育学の研究方法論(1)経験的研究の成果と課題 興味のある研究を探す(2時間)
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	論文のレビュー(2時間) 体育科教育学の研究方法論(2)質的研究の成果と課題 興味のある研究を探す(2時間)
第14回	事前学修 授業内容 事後学修	論文のレビュー(2時間) 体育科教育学の研究方法論(3)教師による実践研究 興味のある研究を探す(2時間)

第 15 回	事前学修 授業内容 事後学修	論文のレビュー(2 時間) 本講義のまとめ(理論の活用、実践へ) 期末レポート(2 時間)
<p>【成績評価の方法】 テスト 40%、レポート 60%</p> <p>【テキスト】 高橋健夫・岡出美則・友添秀則・岩田靖 編著『新版体育科教育学入門』大修館書店, 2010</p> <p>【参考書】 竹田清彦・高橋健夫・岡出美則 編著『体育科教育学の探究』大修館書店, 1997</p> <p>【履修上の注意等】 特になし。</p>		

授業科目名：体育科教育実践演習		教育学
担当教員名：松本 祐介		534122/半期/2 単位/演習
【到達目標】		
<ul style="list-style-type: none"> ・より良い体育授業を設計・実践し、自己評価する力を身につけることができる。 ・現場で即戦力となる実践的指導力を身につけることができる。 		
【授業の概要(目的)】		
実際の小学校体育授業の映像などの具体的な例を用いながら、学習指導法を学んでいくとともに、実際に授業設計、実践、省察を経験し、実践的指導力を高める。		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	小学校学習指導要領解説体育編の復習(3時間) オリエンテーション(授業の趣旨、内容、方法、評価等) テキスト「体育の教材を創る」のはじめにを読んでおく(1時間)
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	該当箇所のテキスト予習(1時間) 教科内容の構造 チェックテストレポートの作成(3時間)
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	該当箇所のテキスト予習(1時間) 運動学習・認識学習・社会的学習・情意的学習について チェックテストレポートの作成(3時間)
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	該当箇所のテキスト予習(1時間) 効果的教授についての知見(効果的な教授パターン) チェックテストレポートの作成(3時間)
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	該当箇所のテキスト予習(1時間) 授業のマネジメント(効果的なマネジメント、技術、具体的事例) チェックテストレポートの作成(3時間)
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	該当箇所のテキスト予習(1時間) 学習指導の実践のポイント(特別支援教育を含む) チェックテストレポートの作成(3時間)
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	該当箇所のテキスト予習(1時間) 体育授業で求められる教師の能力 チェックテストレポートの作成(3時間)
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	該当箇所のテキスト予習(1時間) 指導と評価の一体化 チェックテストレポートの作成(3時間)
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	該当箇所のテキスト予習(1時間) 授業計画(長期的計画と毎日の授業計画) チェックテストレポートの作成(3時間)
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	該当箇所のテキスト予習(1時間) 教材づくり論 チェックテストレポートの作成(3時間)
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	指導案作成の手順(プリント)の予習(1時間) 授業計画(単元計画)の作成 単元計画の作成(3時間)
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	指導案作成の手順(プリント)の予習(1時間) 授業計画(1単位時間の指導案)の作成 本時案の作成(3時間)
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	模擬授業準備(3時間) 授業計画に基づく授業実践(模擬授業) 省察シートの記入(1時間)
第14回	事前学修 授業内容 事後学修	省察シートの記入(2時間) 授業計画に基づく授業実践の検討(省察):映像で振り返る、話し合い 講評を踏まえた省察(2時間)

第 15 回	事前学修 授業内容 事後学修	良い体育授業を考え直す(2時間) 優れた実践に学ぶ(体育研究校における体育授業の見学 or 映像) 自身の実践と比較し、省察(2時間)
<p>【成績評価の方法】 レポート 20%、指導案 30%、模擬授業 30%、省察 20%</p> <p>【テキスト】 岩田靖『体育の教材を創る』大修館書店, 2012</p> <p>【参考書】 シーデントップ(高橋健夫他訳)『体育の指導技術』大修館書店, 1988</p> <p>【履修上の注意等】 特になし。</p>		

授業科目名：音楽科教育の理論と方法		教育学
担当教員名：尾見 敦子		534123/半期/2 単位/講義
【到達目標】 諸外国と日本の音楽科教育の歴史、理念、理論と実践についての知識を確実にし、説明することができる。		
【授業の概要(目的)】 諸外国と日本の公教育における音楽科教育の成立から今日に至る歴史的な変遷をもとに、音楽教育に関する世界の音楽教育の理論と実践の体系、音楽科の教授・学習に関する研究動向等、音楽教育の実践の理論と方法について学ぶ。		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	小学校の音楽授業に関する事前アンケート(事前配布)を記入して持参する。【2時間】 オリエンテーション(授業の趣旨、内容、方法、評価等) 授業の復習。授業時に指示した課題(ワークシート)を完成させる。【2時間】
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	事前配布資料を読み、課題(ワークシート)を行う。【2時間】 音楽科教育の研究領域と課題 授業の復習。授業時に指示した課題(ワークシート)を完成させる。【2時間】
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	事前配布資料を読み、課題(ワークシート)を行う。【2時間】 我が国の音楽科教育の歴史の変遷(1)明治期 授業の復習。授業時に指示した課題(ワークシート)を完成させる。【2時間】
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	事前配布資料を読み、課題(ワークシート)を行う。【2時間】 我が国の音楽科教育の歴史の変遷(2)大正期~昭和(戦前期) 授業の復習。授業時に指示した課題(ワークシート)を完成させる。【2時間】
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	事前配布資料を読み、課題(ワークシート)を行う。【2時間】 我が国の音楽科教育の歴史の変遷(3)昭和(戦後期)~平成期 授業の復習。授業時に指示した課題(ワークシート)を完成させる。【2時間】
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	事前配布資料を読み、課題(ワークシート)を行う。【2時間】 諸外国の音楽科教育の歴史の変遷(1)ドイツ・フランス・スイス・アメリカ 授業の復習。授業時に指示した課題(ワークシート)を完成させる。【2時間】
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	事前配布資料を読み、課題(ワークシート)を行う。【2時間】 諸外国の音楽科教育の歴史の変遷(2)ハンガリーとフィンランド 授業の復習。授業時に指示した課題(ワークシート)を完成させる。【2時間】
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	事前配布資料を読み、課題(ワークシート)を行う。【2時間】 音楽教育に関する哲学的研究の理論と方法 授業の復習。授業時に指示した課題(ワークシート)を完成させる。【2時間】
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	事前配布資料を読み、課題(ワークシート)を行う。【2時間】 音楽教育に関する音楽学的研究の理論と方法 授業の復習。授業時に指示した課題(ワークシート)を完成させる。【2時間】
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	事前配布資料を読み、課題(ワークシート)を行う。【2時間】 音楽教育に関する心理学的研究の理論と方法 授業の復習。授業時に指示した課題(ワークシート)を完成させる。【2時間】
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	事前配布資料を読み、課題(ワークシート)を行う。【2時間】 音楽教育に関する教授学的研究の理論と方法 授業の復習。授業時に指示した課題(ワークシート)を完成させる。【2時間】
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	事前配布資料を読み、課題(ワークシート)を行う。【2時間】 現行教育課程における音楽科カリキュラムと構造 授業の復習。授業時に指示した課題(ワークシート)を完成させる。【2時間】
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	事前配布資料を読み、課題(ワークシート)を行う。【2時間】 現行教育課程における音楽科教育の学習指導法と評価法 授業の復習。授業時に指示した課題(ワークシート)を完成させる。【2時間】
第14回	事前学修 授業内容 事後学修	事前配布資料を読み、課題(ワークシート)を行う。【2時間】 音楽科教育における「幼小接続」と「小中接続」のための理論と方法 授業の復習。授業時に指示した課題(ワークシート)を完成させる。【2時間】

第 15 回	事前学修 授業内容 事後学修	事前配布資料を読み、課題(ワークシート)を行う。【2 時間】 小学校音楽科の学習指導の開発と研究法(まとめ) 本授業で得たこと、今後の課題についてまとめる。【2 時間】
<p>【成績評価の方法】 平常点 25%、課題 50%、レポート 25% (音楽科教育に関する概念と知識を習得したか、授業に積極的に取り組んだか、総合レポートに独創性があるか等の観点から総合的に評価する。)</p> <p>【テキスト】 特に使用しない。</p> <p>【参考書】 初等科音楽教育研究会編『初等科音楽科教育法』音楽之友社, 2011 L.チョクシー・R.エイブラムソン・A.カレスピー 『音楽教育メソッドの比較 コダーイ、ダルクロズ、オルフ、CM』全音楽譜出版社, 1994 F.カタン・S.エルジェーベト(羽仁協子他訳)『コダーイ・システムとは何か』全音楽譜出版社, 1974</p> <p>【履修上の注意等】 状況に応じて計画を変更することもある。希望によっては音楽指導の参観を行う。</p>		

授業科目名：音楽科教育実践演習		教育学
担当教員名：尾見 敦子		534124/半期/2 単位/演習
【到達目標】 小学校音楽科教育に関する国内外の理論と方法の研究を横断的に概観し、我が国の小学校音楽科教育の理論と方法の特徴を明確にした上で、実践的な授業展開の理論と方法を習得する。		
【授業の概要(目的)】 諸外国と日本の公教育における音楽科教育の歴史的な変遷をもとに、音楽教育に関する世界の音楽教育の理論と実践の体系、音楽科の教授・学習に関する研究動向等、音楽教育の実践の理論と方法について学ぶ。		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	シラバスを読み、履修の目標を立てる。【2時間】 オリエンテーション(授業の趣旨、内容、方法、評価等) オリエンテーションをもとに本授業の履修に必要な事柄について整理し、履修計画を立てる。【2時間】
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	事前講読資料を読んで要点をまとめる。【2時間】 音楽科教育の研究領域と課題 音楽科教育の研究領域ごとに課題を整理する。【2時間】
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	事前講読資料を読んで要点をまとめる。【2時間】 我が国の音楽科教育の歴史的変遷(1)明治期 明治期の音楽教育について整理する。【2時間】
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	事前講読資料を読んで要点をまとめる。【2時間】 我が国の音楽科教育の歴史的変遷(2)大正期～昭和(戦前期) 大正期～昭和(戦前期)の音楽教育について整理する。【2時間】
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	事前講読資料を読んで要点をまとめる。【2時間】 我が国の音楽科教育の歴史的変遷(3)昭和(戦後)期～平成期 昭和(戦後)期～平成期の音楽教育について整理する。【2時間】
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	事前講読資料を読んで要点をまとめる。【2時間】 諸外国の音楽科教育の歴史的変遷(1)ドイツ・フランス・スイス・アメリカ ドイツ・フランス・スイス・アメリカの音楽科教育の歴史的変遷について整理し、まとめる。【2時間】
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	事前講読資料を読んで要点をまとめる。【2時間】 諸外国の音楽科教育の歴史的変遷(2)ハンガリーとフィンランド ハンガリーとフィンランドの音楽科教育の歴史的変遷について整理し、まとめる。【2時間】
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	事前講読資料を読んで要点をまとめる。【2時間】 音楽教育に関する哲学的研究の理論と方法 哲学的研究が音楽教育実践にどのような意義があるかについて考察し、まとめる。【2時間】
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	事前講読資料を読んで要点をまとめる。【2時間】 音楽教育に関する音楽学的研究の理論と方法 音楽学的研究が音楽教育実践にどのような意義があるかについて考察し、まとめる。【2時間】
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	事前講読資料を読んで要点をまとめる。【2時間】 音楽教育に関する心理学的研究の理論と方法 心理学的研究が音楽教育実践にどのような意義があるかについて考察し、まとめる。【2時間】
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	事前講読資料を読んで要点をまとめる。【2時間】 音楽教育に関する教授学的研究の理論と方法 教授学的研究が音楽教育実践にどのような意義があるかについて考察し、まとめる。【2時間】
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	事前講読資料を読んで要点をまとめる。【2時間】 現行教育課程における音楽科カリキュラムと構造 音楽科の現行教育課程について諸外国との比較において考察し、まとめる。【2時間】
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	事前講読資料を読んで要点をまとめる。【2時間】 現行教育課程における音楽科教育の学習指導法と評価法 音楽科固有の学習指導法と評価法について考察し、まとめる。【2時間】
第14回	事前学修 授業内容 事後学修	事前講読資料を読んで要点をまとめる。【2時間】 音楽科教育における「幼小接続」と「小中接続」のための理論と方法 諸外国との比較において音楽科教育における「幼小接続」と「小中接続」についてまとめる。【2時間】

第 15 回	事前学修 授業内容 事後学修	事前講読資料を読んで要点をまとめる。【2 時間】 学校音楽科の学習指導の開発と研究法(まとめ) 15 回の学修をふりかえり、要点と課題を整理する。【2 時間】
<p>【成績評価の方法】 音楽科教育に関する概念と知識を習得したか、授業に積極的に取り組んだか、総合レポートに独創性があるか等の観点から総合的に評価する。</p> <p>【テキスト】 特に使用しない。</p> <p>【参考書】 『初等科音楽科教育法』音楽之友社, 2011 年 『音楽教育メソッドの比較 コダーイ、ダルクロース、オルフ、CM』全音楽譜出版社, 1994 年 『コダーイ・システムとは何か』全音楽譜出版社, 1974 年</p> <p>【履修上の注意等】</p>		

授業科目名：学校カウンセリング		教育学・教職
担当教員名：蓮見 元子		534126/半期/2 単位/講義
【到達目標】 学校カウンセリングについて、理論的背景を理解し、適切な実践できるようになる。		
【授業の概要（目的）】 どのようにすれば学校カウンセリングが学校現場で役に立つのか、カウンセリングの基礎理論、学校カウンセリング技法、ロールプレイング、模擬授業などの体験学習を取り入れながら、学校カウンセリングについて基礎から実践までわかりやすく解説する。		
【授業計画】		
第1回	事前学修 授業内容 事後学修	学校カウンセリングの基礎概念について調べる【2時間】 学校カウンセリングの基本概念 学校カウンセリングの目的・方法がわかる【2時間】
第2回	事前学修 授業内容 事後学修	パーソナリティの発達に関する理論について調べる【2時間】 学校カウンセリングの心理学的基礎：パーソナリティの発達と適応理論 パーソナリティの発達と適応理論についてまとめる【2時間】
第3回	事前学修 授業内容 事後学修	主要なカウンセリングの技法をあげる【2時間】 学校カウンセリングの技法（傾聴の技法、受容と共感） カウンセリングの技法を使って、模擬カウンセリング面接をする【2時間】
第4回	事前学修 授業内容 事後学修	児童期から思春期・青年期の発達課題をまとめる【2時間】 学校カウンセリングと発達課題：児童期・思春期・青年期 学校で起こる教育相談事例をまとめる【2時間】
第5回	事前学修 授業内容 事後学修	教師と学校カウンセリング：教科指導（体育）におけるカウンセリングの活用を考える【2時間】 教師と学校カウンセリング：教科指導におけるカウンセリングの活用（模擬授業） 教師と学校カウンセリング：教科指導（英語）におけるカウンセリングの活用をまとめる【2時間】
第6回	事前学修 授業内容 事後学修	教師と学校カウンセリング：生徒指導におけるカウンセリングの活用を考える【2時間】 教師と学校カウンセリング：生徒指導・進路指導におけるカウンセリングの活用（模擬面接） 教師と学校カウンセリング：進路指導におけるカウンセリングの活用をまとめる【2時間】
第7回	事前学修 授業内容 事後学修	学校現場で起こる保護者の気持ちへの対応を考えてみる【2時間】 学校現場で起こる問題、保護者の気持ちへの対応（ロールプレイング） 学校現場で起こる保護者の気持ちへの対応のしかたをまとめる【2時間】
第8回	事前学修 授業内容 事後学修	学校不応について事例をあげる【2時間】 学校不応の理論と支援：不登校、行き渋り 不登校や行き渋りについて対応の仕方をまとめる【2時間】
第9回	事前学修 授業内容 事後学修	学校不応についての事例をあげる【2時間】 学校不応の理論と支援：いじめ、対人不安 いじめや、対人不安についての対応の仕方をまとめる【2時間】
第10回	事前学修 授業内容 事後学修	学校不応についての事例をあげる【2時間】 学校不応の理論と支援：パニック障害、落ち着きのなさ パニック障害や落ち着きのなさについての対応の仕方をまとめる【2時間】
第11回	事前学修 授業内容 事後学修	学校不応についての事例をあげる【2時間】 学校不応の理論と支援：学業不振、学習障害 学業不振、学習障害についての対応の仕方をまとめる【2時間】
第12回	事前学修 授業内容 事後学修	学校不応についての事例をあげる【2時間】 学校不応の理論と支援：摂食障害、非行、怠学 摂食障害、非行、怠学についての対応の仕方をまとめる【2時間】
第13回	事前学修 授業内容 事後学修	カウンセリング演習のための準備【2時間】 カウンセリング演習（カウンセラー、保護者、子ども）を行う カウンセラー、保護者、子どもの立場を交代しながらカウンセリング演習を復習する【2時間】
第14回	事前学修 授業内容 事後学修	遊戯療法・箱庭療法について調べる【2時間】 遊戯療法・箱庭療法（体験学習） 遊戯療法を実際に行った事例報告を読む【2時間】

第 15 回	事前学修 授業内容 事後学修	学校カウンセリングを学んで【2時間】 学校カウンセリングと限界 まとめと試験 学校カウンセリングの応用【2時間】
<p>【成績評価の方法】 『平常点 50%』『レポート 30%』『小テスト 20%』</p> <p>【テキスト】 特になし</p> <p>【参考書】 特になし</p> <p>【履修上の注意等】 雑誌や出版物、センター紀要など関連する文献を毎回講読する。</p>		